

英語を習得すると なんの役に立つの？

AI時代の「リアルなROI」と、
大人の世界の残酷な真実



**「DeepLやChatGPTがあるのに、
なぜ文法を暗記するのか？」**



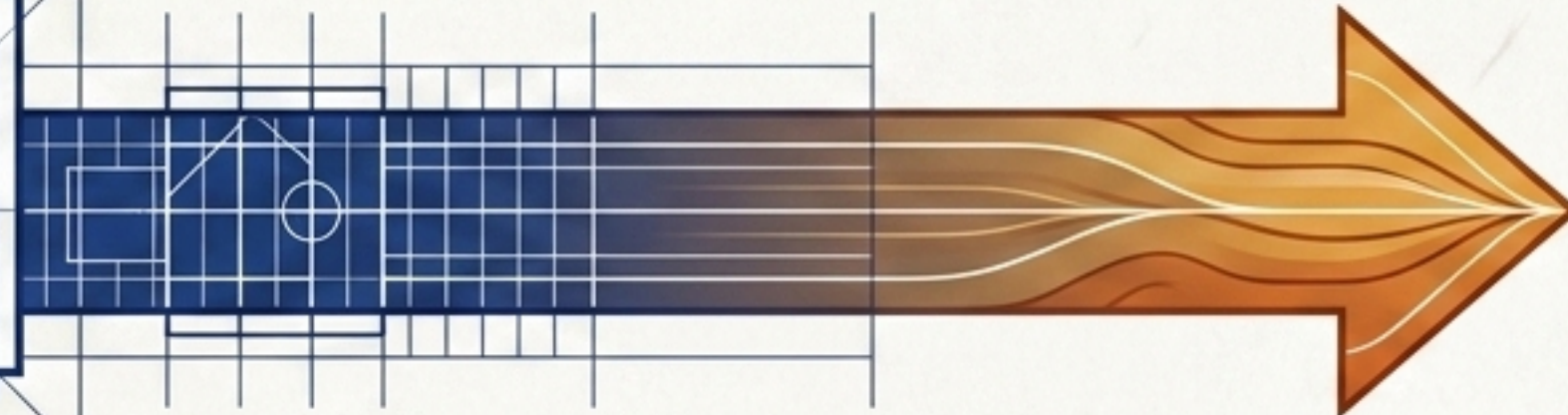
- 将来ずっと日本に住むし、外国人と話す機会もない。
- 「単なる意味の翻訳」なら、テクノロジーが全部やってくれる。
- ——その直感は、半分正しくて、半分は「致命的な錯覚」だ。

学校の「翻訳ゲーム」ではない、
大人のリアルな話をしよう。

大人の世界では、「情報」が そのまま「お金」に変わる。

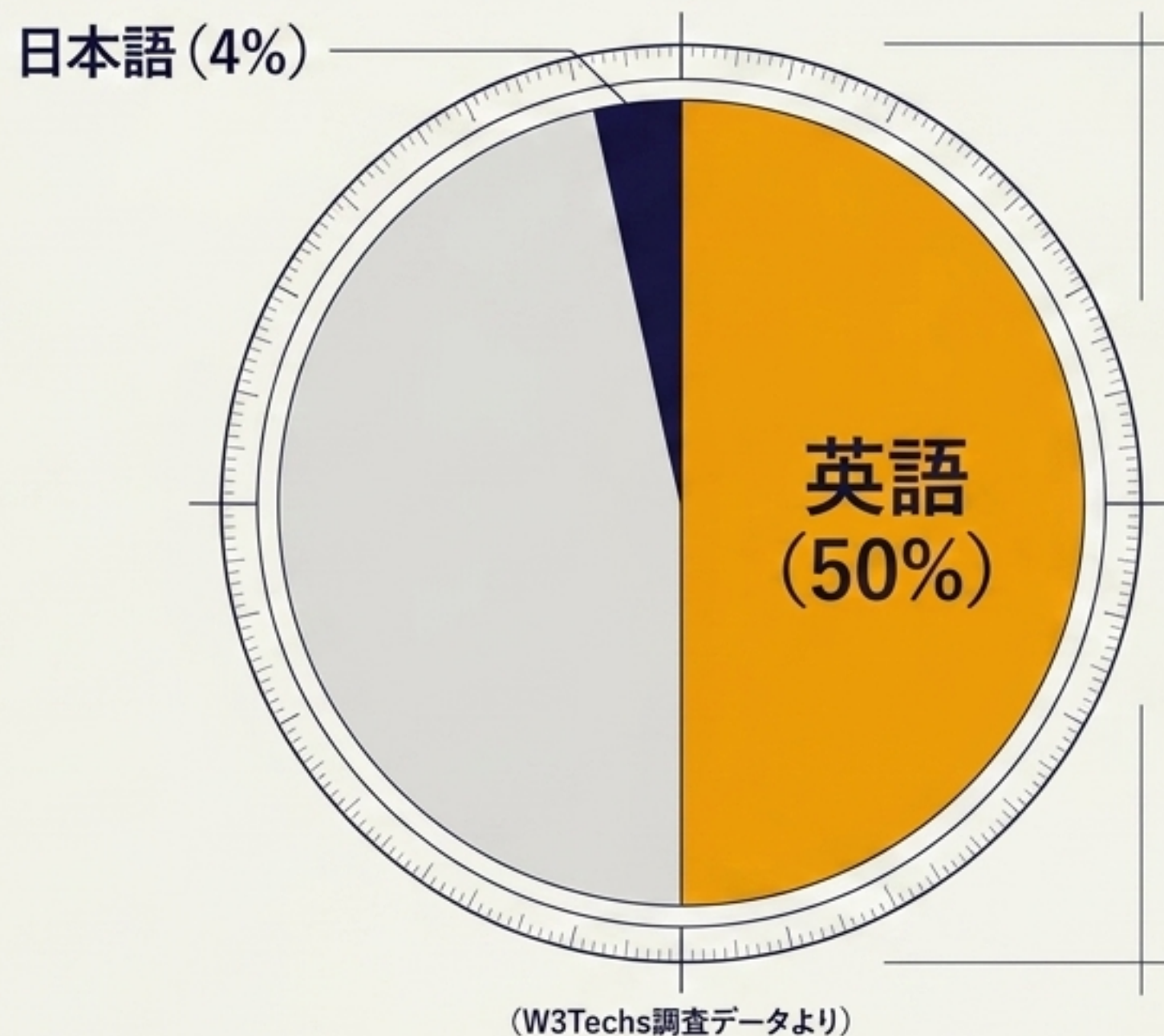


情報



お金

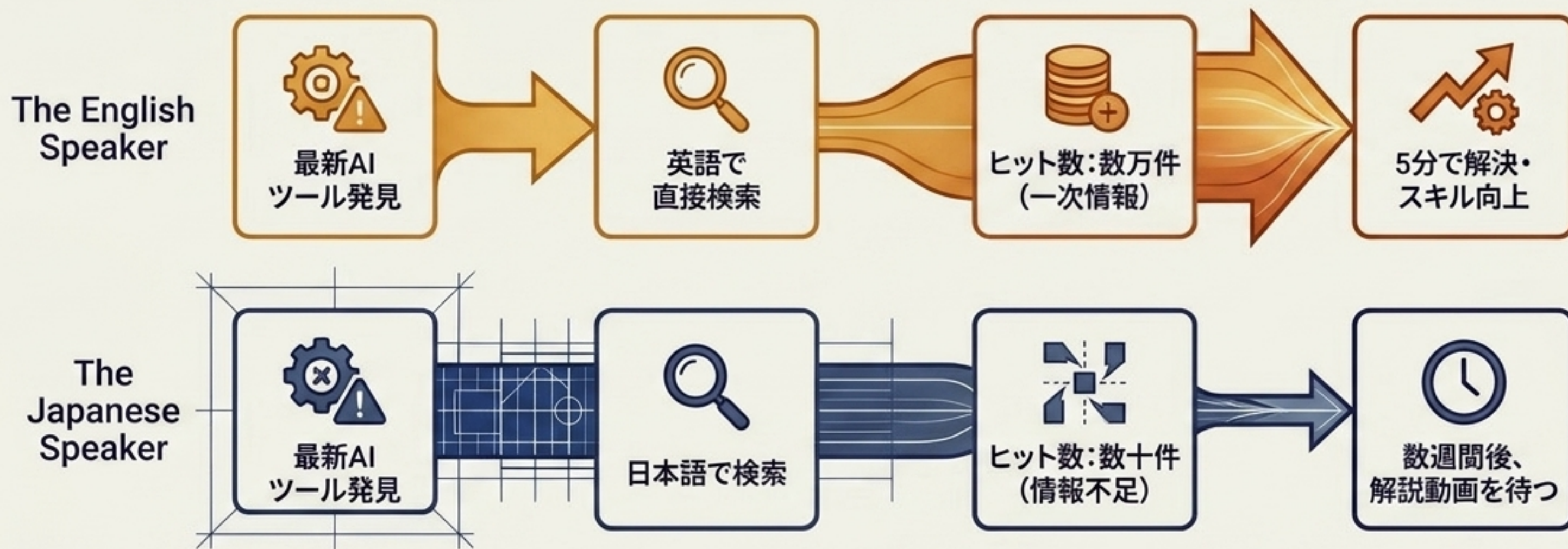
ネット空間の半分は英語。日本語はわずか「4%」の閉鎖空間。



英語を放棄することは、世界の「96%の知識」から自らを締め出すことと同義である。

「一次情報」へのアクセス速度が、圧倒的な格差を生む

The Time-Lag Funnel



翻訳機は「どの英語のページを翻訳すべきか」というアンテナまでは提供してくれない。
英語は宝の地図を見つけるためのレーダーだ。

あなたの価値は「スキルの高さ」だけでは決まらない。

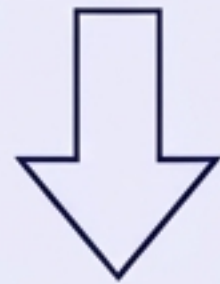
価値を決定づけるのは「市場（マーケット）の大きさ」である。



1億人の市場から、15億人の巨大市場へ

日本語市場

$$\left[\begin{array}{c} \text{同じ才能} \\ \text{/スキル} \end{array} \right] \times \left[\text{1億人} \right]$$



結果: 登録者1000万人 / バイト時給1000円

英語圏市場

$$\left[\begin{array}{c} \text{同じ才能} \\ \text{/スキル} \end{array} \right] \times \left[\text{15億人} \right]$$

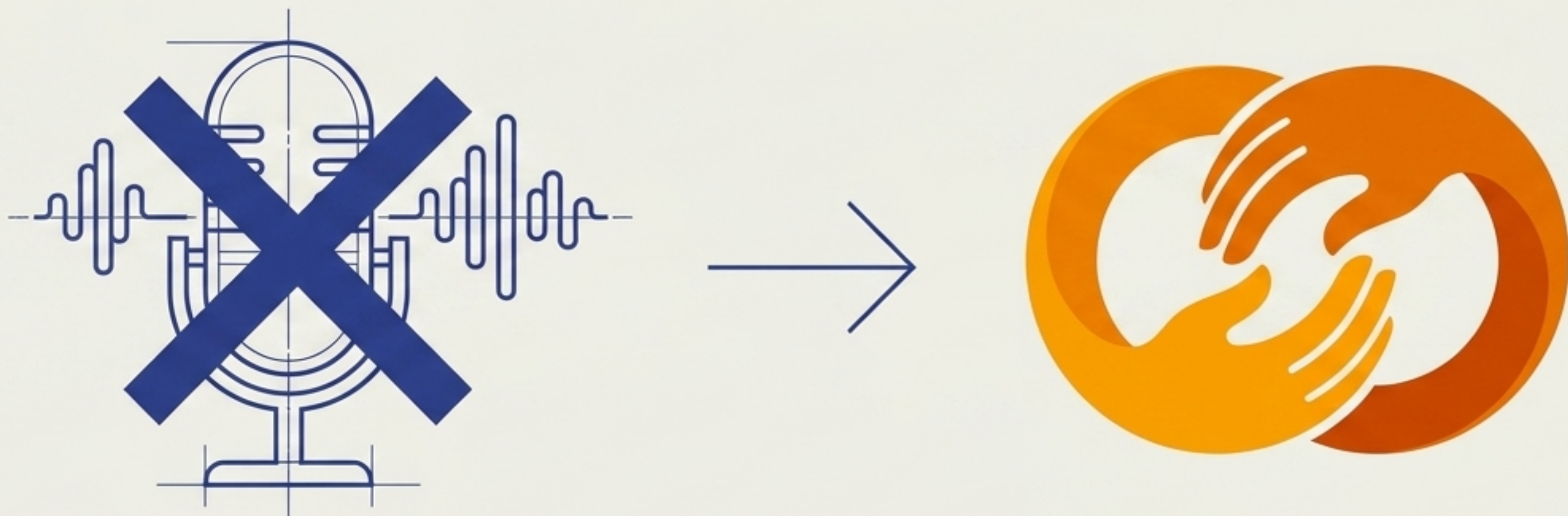


結果: 登録者数億人 / バイト時給2000~3000円

OECDのデータが示す現実：働く場所（市場）を英語圏に変えるだけで、自分の値段は2倍~3倍に跳ね上がる。
英語は、自分を「世界で一番高く買ってくれる場所」へ持っていくチケットだ。

「リアルタイム音声翻訳」の罠。

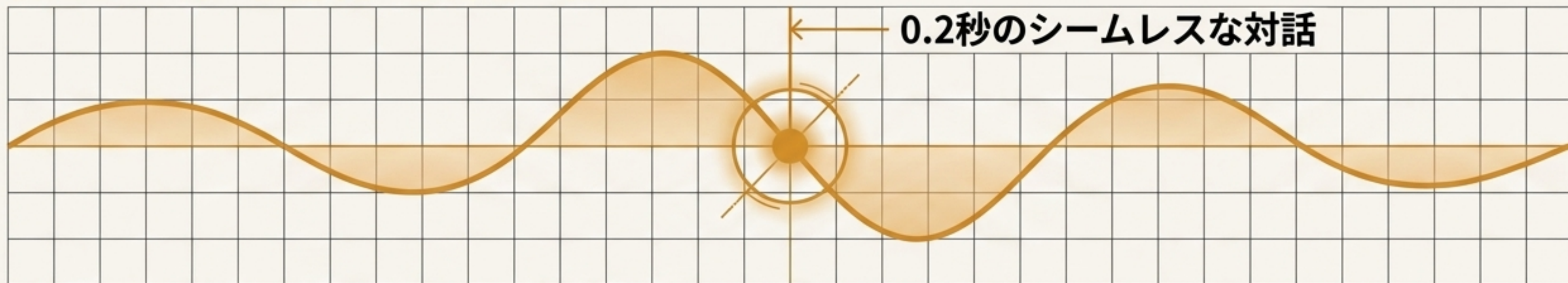
駅への道順は教えられても、大人の世界の「信頼関係」はハックできない。



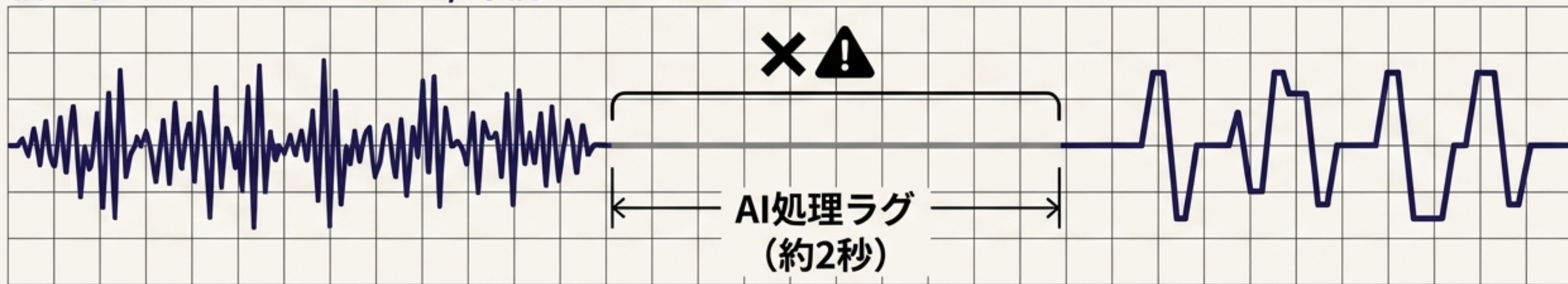
脳科学が証明する「0.2秒の壁」とテンポの崩壊

(独マックス・プランク研究所のデータより：世界共通の反応速度「0.2秒」)

自然なテンポ (無意識の予測と一致)



脳の予測システムのエラー / 本能的なストレス



機械の平坦な声では「ミラーニューロン」は共鳴しない



「非言語情報」が削ぎ落とされたAI音声では、感情を鏡のように共有する細胞が機能しない。
腹を割った深い信頼関係（ラポール）は、AIには絶対に代行できない。

究極の選択：AIに依存する生き方 vs 英語を支配する生き方

	AIに依存する生き方	英語をマスターする生き方
① 情報へのアクセス	 翻訳されるまで待つ (残り物の情報)	一次情報を即座に獲得 (50%の海へ)
② 市場価値と収入	1億人の日本語市場に幽閉	15億人のグローバル市場で勝負
③ 人間関係と信頼	テンポの遅れによる見えない摩擦	0.2秒で心を通わせる深い信頼

英語は「教科」ではない。自由に生きるための「翼」だ。



- どこに住むか。

- 誰と働くか。

- いくら稼ぐか。

- 自分の力で人生を選ぶ
ための最強のツール。

アルファベットの向こう側には、 圧倒的に自由で面白い世界が待っている。

「翻訳アプリがあるからいらない」と、
その教科書を閉じるのはまだ早い。

